委員会視察成果報告書

令和８年10月19日

犬山市議会議長

議員名　岡村千里

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

（1）視察年月日　令和８年10月６日

（2）視察地　兵庫県三木市

（3）視察の種類　常任委員会（民生文教委員会）

（4）視察成果　学校の在り方及び再編検討について

三木市は人口７万１千人、面積は176㎢。市町村合併しており山間地域がある。

平成29年「学校環境在り方検討会議」を設置、有識者も参加されていた。

平成30年「学校再編検討会議」に名称を変更し、令和元年10月「三木市市立小中学校の再編に関する実施方針」策定。一定の集団古保を確保、小中一貫教育の導入及び推進が示される。令和３年度から３小学校、２中学校を統合をはじめ、学校が統合された。これにあたり、保護者や住民との合意形成のため、平成30年から市内全域10地域に意見交換会が実施された。（合計54回の説明会）地域から学校がなくなることについては、丁寧な説明をされた。押し付けでなく一緒に考える姿勢が素晴らしい。

統合により子どもたちの通学の問題があるが、三木市は、スクールバスを独自で運行する方法をとっている。バス１４台をリース契約。一番遠いのは吉川地域でバスで３０分程度かかるとのことであった。

小規模校については、児童生徒数が極端に減少していく学校について、望ましい教育環境の整備に向け検討されている。また、廃校になった学校は売却せず地域活用や災害時の避難所に、また民間活用を促し賃貸で家賃収入を得ていることが分かった。



（5）成果・提言　　1，子どもたちの数が減少している中で、２０年～３０年後のことを考えながら、学校の在り方や子どもたちの教育環境について有識者に参加してもらい検討する。

2，学校の適正規模などの課題を市民とも共有し、パブリックコメントだけでなく、地域住民との合意形成に努める。

委員会視察報告書

令和8年10月19日

犬山市議会議長

議員名　岡村千里

下記の通り、視察の成果を報告いたします。

（1）視察年月日　令和8年10月7日

（2）視察地　兵庫県姫路市

（3）視察の種類　常任委員会（民生文教委員会）

（4）視察成果　乳幼児健診・小児予防接種のデジタル化について

姫路市は人口51万6千人、面積は534㎢。今年度から中核市となった。

デジタル化導入の背景としては、保険部門の課題とデジタル部門のビジョンがマッチ. また、令和5年4月デジタル田園都市国家構想交付金（国の補助金）を確保し、9月母子健康手帳アプリ導入。令和6年8月小児予防接種デジタル医療機関向け説明会を行い令和7年1月小児予防接種デジタル化、その後、1歳6か月児健診、3歳児健診デジタル化を実施。令和7年7月乳児健診デジタル化医療機関向け説明会を行い、10月に4ヶ月及び10か月健診デジタル化を実施している。医療機関への説明会から短期間でデジタル化が進んでいる。高齢の医師、大きな医療機関はシステム導入が困難とのこと。

健診のデジタル問診票の利用状況は、3歳児健診を除き約60%代～84%と高い。

課題は、紙とデジタルの併用による事務の煩雑化、デジタル化に対応していない医療機関への対応、母子健康手帳アプリ未利用者の市民への対応などがある。

今後の方向性では、市民にとって利便性が高いシステムの構築、デジタル健診対応医療機関の拡充、PMH連携、電子版母子健康手帳へのスムーズな移行が挙げられている。

（5）犬山市への提言　1，令和10年度の予防接種のデジタル化に向けて、情報政策課と連携してどのように導入を進めるのか検討する。

2，市内の医療機関の理解と協力が必要なため、医師会へのていねいな説明だけでなく医師への研修を行うなどサポートも含めて、検討する。